

女性の活躍に向けて官民協働で取組む施策について【概要】

はじめに

めざすのは、女性が働きがいをもって働き続けることができる社会！

働く女性には、ライフステージごとに、働き続けるにあたっての
‘壁’が待ち受けている

働く意欲がありながら思うような働き方ができていない・・・
そんな女性の活躍の場を広げることが必要です

なぜ女性活躍が必要？

企業の人材(人財)不足 + 女性の潜在労働力 働く意欲のある女性の活躍の場を創出することにより大阪の経済成長へ

大阪の現状

大阪の女性の就業率は全国ワースト3！ M字カーブが深く、正規雇用からの離職が多い

女性のキャリアアップの壁

女性の意識「仕事と家庭の両立が困難になる」
企業の意識「必要な知識・経験・判断力不足」
「女性に期待する」・「女性を鍛える」・「女性が活躍する」が急務！

子育てとの両立に伴う壁

両立には、保育施設の充実、子育てとの両立が可能となる制度だけでなく
職場・男性・女性の意識の変革
男性の育児参画を可能とする長時間労働の解消が必要

理想の状態

女性・男性を取り巻く環境・企業の制度・意識が変わること 女性自身の「働きがい」「意欲」のアップ
誰もがワーク・ライフ・バランスを実現

提言

「トップが変わる！」

- トップからの発信により
改革を組織全体へ浸透 -

- ✓ 市長によるメッセージ動画配信
- ✓ 市長と企業トップによる
「ともに変える」宣言リレー

「制度から変える！」

- 先進企業の取組みを
すべての中小企業へ -

- ✓ 「変える」取組みの実践を促す
ハンドブックの作成
- ✓ 先進事例やロールモデルを紹介
するフォーラムの開催

「意識を変える」

- 自分を変える、自分が変わる -

- ✓ 管理職のマネジメント研修、
ロールモデルの提示、
自己啓発講座、両立支援講座
- ✓ 啓発DAYを設定(官民連携で
フォーラム等を集中的に開催し、
効果的に発信)

「子育て環境の充実！」

- 働き方に合わせた子育て環境を
充実させ、働きやすい社会へ -

- 企業、NPO、地域等多様な民の力を活用して
・子どもが安全に過ごせる場所の確保(量)
- ・預け先での子どもの成長の機会の充実(質)
- ✓ 働く女性が抱える「小1の壁」の実態調査
課題解決の方策を検討

官民連携で社会全体を変える

女性が活躍する社会

=

全ての人が働きやすい社会